

学習プログラム 3年「国語」

5月11日（月）「俳句を楽しもう」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき (パソコン)】



じゅぎょうのときと同じように、1日見開き1ページを使っていきましょう。
もしかしら、少ししか書かない日があるかもしれませんが、
学校がはじまったら、友達の考えを書き足したり、ふく習で使ったりします。

②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

📌 〈めあて〉 俳句について知り、声に出して楽しもう。

「めあて」や「大切」、「まとめ」は、じょうぎを使って、赤えんぴつでかこみましょう。

③教科書の85ページ（3行目まで）を音読して、俳句とは何かたしかめましょう。



④ノートに俳句とは何かをまとめましょう。

📌 〈大切〉 俳句…　　・　　の　　音で作られた短い詩。
「　　」という、　　を表す言葉が入っている。

⑤パソコンを使える人は、家の人におねがいして俳句を聞いてみましょう。

「光村図書」→「教科書・教材 小学校 国語」→「教材別資料一覧 3年」
→「俳句を楽しもう（教科書連動コンテンツ）」→「俳句を聞いてみよう」

⑥どこで区切って読むと、調子よく読めるかを考えながら、85、86ページの俳句を音読しましょう。

※俳句が表しているようすについても音読してたしかめましょう。

2回、3回とくり返し声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しめるといいですね。

⑦教科書の87ページを音読しましょう。



⑧ノートにふりかえりを書きましょう。

📌 〈ふりかえり〉

- ・俳句について知り、声に出して楽しむことはできましたか。
- ・音読して、心にのこった俳句はありましたか。
- ・その理由や考えたことを教えてください。

5月12日（火）「国語辞典を使おう」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき (パソコン) (国語辞典)】

②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

🔍 〈めあて〉 国語辞典の使い方を知ろう。

③教科書の32ページ（上の段）を音読して、どんなときに国語辞典を使うのかをたしかめましょう。

④ノートに「どんなときに国語辞典を使うのか」をまとめましょう。

🔍 言葉の____、言葉の____、漢字での____などを知りたいときに使う。

⑤パソコンを使える人は、家の人におねがいして国語辞典の使い方を動画でたしかめましょう。

「光村図書」→「教科書・教材 小学校 国語」→「教材別資料一覧 3年」

→「国語辞典を使おう（教科書連動コンテンツ）」→「国語辞典の使い方」

⑥教科書の32ページ（下の段）を音読して、国語辞典の見方をたしかめましょう。

「つめ」や「はしら」を手がかりにしながら、
「見出し語（調べたい言葉）」をさがしていくのですね。



⑦教科書の33ページを音読して、見出し語の見つけ方をたしかめましょう。

⑧ノートに「見出し語の見つけ方」をまとめましょう。

🔍 〈見出し語の見つけ方〉

①見出し語は、____じゅんにならんでいる。

・はやい ____をくらべる。

・ふかい

・ふとい 同じときは、____をくらべる。

②せい音 …ホール ひざ

だく音 …ボール ピザ

半だく音…ボール ピザ

③のばす音は「_____」におきかえられてなっている。

・カード→かあと

・ゲーム→げえむ

・ゴール→ごおる

④いろいろに形をかえる言葉は、

言い切りの形や、形のかわらない部分が見出し語になる。

⑨国語辞典がある人は、「ふかい」や「ホール・ボール・ポール」「カード」などの言葉を調べてみましょう。

⑩ノートにふりかえりを書きましょう。

🔍 〈ふりかえり〉

・国語辞典の使い方は分かりましたか。

・学校が再開したら、じっさいに国語辞典を使って調べるよていです。

5月13日（水）「漢字の広場1」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき】

②教科書の35ページ（1、2行目）を音読して、今日のもんだいをたしかめましょう。

③ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

✎〈めあて〉 今までにならった漢字を使って、動物園のようすを文に書こう。

④絵の中の言葉を声に出して読み、正しくおぼえているかをたしかめましょう。

教科書にふりがなをふったり、ノートに言葉とふりがなを書いたりするのもいいですね。

⑤絵の中の言葉を使って、どんな文が考えられそうか、家の人に話しましょう。



⑥教科書にあるれい文をもうど声に出して読んで、文の書き方をたしかめてから、ノートに、〈自分の考え〉と書き、次の行から考えた文を書きましょう。

✎〈自分の考え〉（れい）

- ・くじゃくが、きれいな羽を大きく広げています。
- ・女の子が、門の前の_____。
- ・長い首をのばした_____。

「だれが、～しています。」のように、しゅ語とじゅつ語のかんけいに気をつけて文を書けるといいですね。絵の中の言葉だけではなく、今までにならった漢字も使って文をかんがえてみましょう。

⑦ノートに書いた文を読みかえし、絵の中の言葉は赤丸でかこみ、今までにならったほかの漢字の横には赤線を引きましょう。まちがいがあったら正しく書き直しましょう。

【見直しポイント】

- ・漢字を正しく使えているか。
- ・しゅ語とじゅつ語がねじれていないか。



⑧絵の中の漢字や今までにならった漢字をいくつ使うことができたのか、ノートに記ろくしましょう。

✎（れい） ② 1.5 合計 35

⑨ノートにふりかえりを書きましょう。

✎〈ふりかえり〉

- ・今までにならった漢字を正しく使うことができたか。
- ・考えるときにくふうしたことや、むずかしいとかんじたことなどを書いてみましょう。

5月14日（木）「漢字の広場2」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふでばこ 下じき】

②教科書の46ページ（1～4行目）を音読して、今日のもんだいをたしかめましょう。

③ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

✎ 〈めあて〉 今までにならった漢字を使って、たから物をさがしに出かけた、男の子のお話を書こう。

④絵の中の言葉を声に出して読み、正しくおぼえているかをたしかめましょう。

教科書にふりがなをふったり、ノートに言葉とふりがなを書いたりするのもいいですね。

⑤絵の中の言葉を使って、どんなお話が考えられそうか、絵を順番にゆびさしながら家の人と話しましょう。



⑥教科書にあるれい文をもうど声に出して読んで、文の書き方をたしかめてから、ノートに、〈自分の考え〉と書き、次の行から考えたお話を書きましょう。

✎ 〈自分の考え〉 （れい）
まなぶくんは、たから物のある場所がかかれた地図を見つけました。
そこで、ぼうけんに行くことにしました。家を出ばつするときに、_____



文と文を「そこで」という言葉でつないで書いていますね。
ほかには、どんな言葉で文と文をつなぐことができるでしょうか。
「つなぎの言葉」を上手に使って、お話をかんせいさせましょう。

⑦ノートに書いた文を読みかえし、絵の中の言葉は赤丸でかこみ、
今までにならったほかの漢字の横には赤線を引きましょう。
まちがいがあったら正しく書き直しましょう。

【見直しポイント】

- ・漢字を正しく使っているか。
- ・「そこで」「けれども」などのつなぎの言葉を使っているか。

⑧絵の中の漢字や今までにならった漢字をいくつ使うことができたのか、ノートに記ろくしましょう。

✎ (れい) ②⑤ 35 合計60

⑨ノートにふりかえりを書きましょう。

✎ 〈ふりかえり〉

- ・今までにならった漢字やつなぎの言葉を正しく使うことができたか。
- ・考えるときにくふうしたことや、むずかしいとかんじたことなどを書いてみましょう。

5月15日（金）「漢字の広場3」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき】

②教科書の64ページ（1～4行目）を音読して、今日のもんだいをたしかめましょう。

③ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

✎ 〈めあて〉 今までにならった漢字と、時をあらわす漢字を使って、さいきんの出来事と、家の人の来週のよていを書こう。

④絵の中の言葉を声に出して読み、正しくおぼえているかをたしかめましょう。

教科書にふりがなをふったり、ノートに言葉とふりがなを書いたりするのもいいですね。

⑤絵の中の言葉を使って、どんな文が考えられそうか、家の人に話しましょう。



⑥教科書にあるれい文をもうど声に出して読んで、文の書き方をたしかめてから、ノートに、〈自分の考え〉と書き、次の行から考えたお話を書きましょう。

✎ 〈自分の考え〉（れい）

①さいきんの出来事

- ・日曜日の朝は、おきるのがおそくなりました。
- ・午前中は、室内で、_____。

②今週のよてい

- ・水曜日に、姉は、_____。

「日曜日」や「朝」、「午前中」などの「時をあらわす言葉」を使っていますね。



⑦ノートに書いた文を読みかえし、絵の中の言葉は赤丸でかこみ、今までにならったほかの漢字の横には赤線を引きましょう。まちがいがあったら正しく書き直しましょう。

【見直しポイント】

- ・漢字を正しく使えているか。
- ・「時をあらわす言葉」を使っているか。

⑧絵の中の漢字や今までにならった漢字をいくつ使うことができたのか、ノートに記ろくしましょう。

✎ (れい) ③〇 3〇 合計6〇

⑨ノートにふりかえりを書きましょう。

✎ 〈ふりかえり〉

- ・今までにならった漢字や時をあらわす言葉を正しく使うことができたか。
- ・考えるときにくふうしたことや、むずかしいとかんじたことなどを書いてみましょう。

五月十一日（月）
俳句を楽しもう
俳句であつて

俳句について知り、声に出して楽しもう。

へ大切へ
俳句：の音で作られた短い詩。

「と
を
を」という言葉が入っている。

しぜん
そこからの感じられること
があらわさ
れている。

へふりかえりへ

